



伊賀上 明治 議員

## 合併浄化槽設置補助金の継続の考えは

**問** 新築時の合併浄化槽設置補助金を継続する考えは。

**答** 重松町民課長

すでに新築時の補助金を廃止した松山市以外の中予地区2市1町に確認した。東温市、伊予市、砥部町では令和4年度以降の新築時の補助金について廃止する方向で検討している。

令和2年11月の事務事業評価において新築時の補助廃止を決定した後の住民への説明責任については、速やかに住民の皆様の説明と周知を行うよう町長から指示をされていた。私の指示が的確でなかったため、『広報まさき2月号』でのお知らせになってしまった。遅れたことに対して、おわび申し上げます。

**問** 補助金の廃止は令和2年11月、事務事業評価の結果で課長、部長、町長のヒアリングで決定したと聞いているが、間違いないか。

**答** 重松町民課長

令和2年11月の事務事業評価では、当初計画どおり進めるような内容だったが、評価の中で事業規模や内容の見直しを行い、新築時の補助については廃止となった。

## 義農大賞の中止の考えは

**問** 財政調整基金10億円

の目標を掲げ、歳入増、歳出減に向けて取り組む中、生活に密着した合併浄化槽設置補助金を廃止する一方、緊急性が低く、時期尚早と考える義農大賞を、新規事業として予算化したことは矛盾している。義農精神をどのように捉えているのか。

**答** 田中総務課長

本年3月議会において、義農大賞を計上している当初予算案は賛成多数（賛成7、反対4・議長を除く。）で承認されており、中止する考えはない。

**問** もう一度確認するが、伊予市、砥部町、東温市は補助金を継続しているのか、いないのか。また、今後の予定は。

**答** 重松町民課長

令和3年度は補助金は継続している。令和4年度は廃止の方向で検討しているが、廃止が決定したわけではない。

**意見**

今回の一般質問の理事者の答弁では、賛成多数の議会の承認を理由に議案の正当化を主張した場面がいくつかあった。賛成多数だからという理由だけで、少数意見を無視していいわけではない。困っている町民には、少数であっても常に目配りをして、置いてきぼりにならないような町政でなければならない。議員も理事者も今一度、町民目線の行政運営に務めていただきたい。

作兵衛さんは何想う?.

